



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年7月27日

上場会社名 株式会社 青森銀行
 コード番号 8342 URL <http://www.a-bank.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 成田 晋
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 木立 晋
 四半期報告書提出予定日 2018年8月8日 特定取引勘定設置の有無 無
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 017-777-1111

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	11,029	0.0	1,762	9.2	1,286	12.5
2018年3月期第1四半期	11,023	11.9	1,941	19.0	1,470	14.4

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 1,613百万円 (8.9%) 2018年3月期第1四半期 1,771百万円 (578.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	63.15	62.98
2018年3月期第1四半期	72.16	71.99

(注) 2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	2,986,150	121,769	4.0
2018年3月期	2,910,791	120,758	4.1

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 121,608百万円 2018年3月期 120,605百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		3.00		30.00	
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。2018年3月期第2四半期末の1株当たり配当金については、当該株式併合前の金額を記載し、年間配当金合計は「 」として記載しております。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,300	22.3	1,500	40.8	73.62
通期	5,100	16.1	3,500	18.4	171.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	20,512,161 株	2018年3月期	20,512,161 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	139,007 株	2018年3月期	138,955 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	20,373,193 株	2018年3月期1Q	20,374,858 株

(注)2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【添付資料】

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	2
（3）連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
（1）四半期連結貸借対照表	3
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
（3）継続企業の前提に関する注記	6
（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
4. 補足情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（2018年4月1日～2018年6月30日）の経営成績につきましては、以下のとおりとなりました。

経常収益は、資金運用収益が引き続き減少したものの、役務取引等収益や有価証券関係収益の増加等により、前年同期比6百万円増収の110億29百万円となりました。また経常費用は、営業経費や有価証券関係損失の増加等により、前年同期比1億86百万円増加の92億67百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比1億79百万円減益の17億62百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益についても、前年同期比1億84百万円減益の12億86百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における財政状態につきまして、総資産は前連結会計年度末比753億円増加し2兆9,861億円、純資産は前連結会計年度末比10億円増加し1,217億円となりました。

譲渡性預金を含めた総預金は、個人預金及び法人預金が引き続き順調に推移したことから、前連結会計年度末比775億円増加し2兆6,207億円となりました。

貸出金は、個人ローンは増加したものの、一般貸出および公共貸出の減少により、前連結会計年度末比225億円減少し1兆7,094億円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末比206億円増加し8,162億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2018年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
現金預け金	292,480	356,688
コールローン及び買入手形	—	10,000
買入金銭債権	2,512	2,484
商品有価証券	200	200
有価証券	795,630	816,262
貸出金	1,731,955	1,709,442
外国為替	1,565	2,175
リース債権及びリース投資資産	13,570	14,612
その他資産	38,527	39,187
有形固定資産	20,803	21,048
無形固定資産	1,928	1,995
退職給付に係る資産	2,804	2,848
繰延税金資産	428	407
支払承諾見返	17,505	17,539
貸倒引当金	△9,117	△8,732
投資損失引当金	△2	△9
資産の部合計	2,910,791	2,986,150
負債の部		
預金	2,383,286	2,417,120
譲渡性預金	159,946	203,654
コールマネー及び売渡手形	20,634	1,989
借入金	191,562	206,698
外国為替	28	58
その他負債	10,467	10,979
賞与引当金	616	6
役員賞与引当金	14	7
退職給付に係る負債	367	352
役員退職慰労引当金	15	10
睡眠預金払戻損失引当金	550	550
繰延税金負債	3,444	3,819
再評価に係る繰延税金負債	1,593	1,592
支払承諾	17,505	17,539
負債の部合計	2,790,033	2,864,380
純資産の部		
資本金	19,562	19,562
資本剰余金	12,916	12,916
利益剰余金	69,981	70,657
自己株式	△500	△501
株主資本合計	101,959	102,634
その他有価証券評価差額金	16,611	16,960
繰延ヘッジ損益	△58	△142
土地再評価差額金	2,423	2,424
退職給付に係る調整累計額	△330	△269
その他の包括利益累計額合計	18,646	18,973
新株予約権	152	161
純資産の部合計	120,758	121,769
負債及び純資産の部合計	2,910,791	2,986,150

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自2017年4月1日 至2017年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自2018年4月1日 至2018年6月30日）
経常収益	11,023	11,029
資金運用収益	6,622	6,316
（うち貸出金利息）	4,456	4,347
（うち有価証券利息配当金）	2,161	1,964
役務取引等収益	1,448	1,538
その他業務収益	88	241
その他経常収益	2,863	2,933
経常費用	9,081	9,267
資金調達費用	303	235
（うち預金利息）	233	180
役務取引等費用	539	552
その他業務費用	48	131
営業経費	5,676	5,820
その他経常費用	2,512	2,526
経常利益	1,941	1,762
特別利益	—	1
固定資産処分益	—	1
特別損失	45	48
固定資産処分損	6	31
減損損失	39	17
税金等調整前四半期純利益	1,895	1,715
法人税、住民税及び事業税	209	174
法人税等調整額	215	254
法人税等合計	425	428
四半期純利益	1,470	1,286
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,470	1,286

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）
四半期純利益	1,470	1,286
その他の包括利益	301	327
その他有価証券評価差額金	268	349
繰延ヘッジ損益	3	△84
土地再評価差額金	—	1
退職給付に係る調整額	29	60
四半期包括利益	1,771	1,613
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,771	1,613

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

当行の2019年3月期第1四半期決算の概要は以下のとおりであります。

（1）損益の状況（単体）

実質業務純益は、資金利益の減少や経費の増加を要因として、前年同期比 2億32百万円減益の16億92百万円（第2四半期予想比70.5%）となりました。

経常利益は、株式等関係損益が増加したものの、実質業務純益や貸倒引当金戻入益の減少により、前年同期比 2億49百万円減益の19億91百万円（第2四半期予想比86.5%）となりました。また、四半期純利益についても、前年同期比 2億44百万円減益の15億98百万円（同94.0%）となりました。

（単位：百万円）

	2019年3月期 第1四半期 (3カ月累計) (A)	2018年3月期 第1四半期 (3カ月累計) (B)	前年 同期比 (A)-(B)	2019年3月期 第2四半期 予想値
経常収益	9,026	9,110	84	
業務粗利益	7,569	7,691	122	
(除く国債等債券損益)(コア業務粗利益)	7,480	7,672	192	
資金利益	6,575	6,843	268	
役務取引等利益	884	808	76	
その他業務利益	110	40	70	
(うち国債等債券損益)	89	19	70	
経費(除く臨時処理分)	5,877	5,767	110	
人件費	3,044	3,033	11	
物件費	2,423	2,339	84	
税金	409	394	15	
実質業務純益	1,692	1,924	232	2,400
コア業務純益	1,603	1,904	301	2,400
一般貸倒引当金繰入額	-	-	-	
業務純益	1,692	1,924	232	
臨時損益	299	316	17	
うち株式等関係損益	261	158	103	
うち不良債権処理額	0	-	0	
うち貸倒引当金戻入益	139	222	83	
(与信費用 + -)	139	222	83	
経常利益	1,991	2,240	249	2,300
特別損益	46	45	1	
うち減損損失	17	39	22	
税引前四半期純利益	1,944	2,194	250	
法人税等	345	351	6	
四半期純利益	1,598	1,842	244	1,700

(2) 金融再生法開示債権（単体）

金融再生法ベースの開示債権額は、2018年3月末比 1億円減少して225億円となりました。

	2018年6月末		2018年3月末
		2018年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	29	7	36
危険債権	161	2	163
要管理債権	35	8	27
小計(A)	225	1	226
正常債権	17,305	222	17,527
合計(B)	17,530	222	17,752
開示債権比率(A)/(B)	1.28%	0.01%	1.27%

(単位：億円)

- (注) 1. 記載金額は単位未満を四捨五入して表示しております。
 2. 上記計数は、部分直接償却相当額を直接減額した後の残高を記載しております。

(3) 時価のある有価証券の評価差額（単体）

その他有価証券の評価差額は、2018年3月末比5億円増加して241億円の評価益となりました。

	2018年6月末				2018年3月末			
	時価	評価差額	うち益	うち損	時価	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	7,460	241	251	9	7,600	236	251	14
株式	248	82	84	1	255	79	81	2
債券	5,834	118	120	1	5,870	125	128	2
その他	1,377	40	46	6	1,474	31	41	9

(単位：億円)

(参考) (単位：億円)

- (注) 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。また、子会社・関連会社株式で時価のあるものは該当ありません。

	2018年6月末				2018年3月末			
	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
満期保有目的の債券	678	0	1	0	332	0	1	0

(単位：億円)

(参考) (単位：億円)

(4) 自己資本比率（国内基準）

2018年6月末の自己資本比率（国内基準）については現在算出中であり、確定次第、別途開示する予定であります。

(5) 預金、貸出金等の残高(単体)

預金等残高は、個人預金や法人預金の増加等により、前年同月末比810億円(+3.1%)増加し、2兆6,297億円となりました。また預り資産残高は、投資信託および個人年金保険等が減少したものの、公共債が増加し、前年同月末比4億円(+0.1%)増加の2,546億円となりました。

貸出金残高は、公共貸出は減少したものの、県内一般貸出および個人ローンの増加により、前年同月末比222億円(+1.3%)増加し、1兆7,220億円となりました。

預金・貸出金の残高

	(単位:億円)		(参考)	
	2018年6月末	前年同月末比	2018年3月末	2017年6月末
預金等(未残)	26,297	810	25,535	25,487
うち個人預金	16,831	289	16,451	16,542
うち法人預金	5,785	352	5,615	5,433
貸出金(未残)	17,220	222	17,445	16,998
一般貸出	7,406	145	7,524	7,261
個人ローン	4,129	359	4,046	3,770
公共貸出	5,684	282	5,874	5,966

(注) 預金等 = 預金 + 譲渡性預金

預り資産の残高

	(単位:億円)		(参考)	
	2018年6月末	前年同月末比	2018年3月末	2017年6月末
投資信託	696	88	711	784
公共債	298	99	289	199
個人年金保険等	1,551	7	1,545	1,558
合計	2,546	4	2,546	2,542

() 個人年金保険等は有効契約残高で計上しております。

以上